



28年度までに 部活動を廃止

玖珠、地域移行で答申

【玖珠】玖珠町の学校部活動について議論する総合教育審議会は20日、「多様で持続可能な地域への展開を進め、現在の部活動は2028年度までに廃止する」などとする答申をまとめ、山崎祐也委員長が梶原

敏明町教育長に答申書を手渡した。

答申は▽従来の学校部活動から生涯スポーツ・文化活動に転換▽単なる地域移行でなく、活性化につながる地域展開を目指す▽本年度から4年間を改革期間とし、28年度までに部活動を廃止▽町教委で部活動の地域展開推進計画を策定するなどと提言する内容。



部活動の地域展開などの方向性をまとめ、答申した総合教育審議会の山崎祐也委員長（右端）

町役場であった第5回審議会で、出席した委員が答申案を可決した。

梶原教育長は「地域展開を進めることで人づくり、町づくりに発展させるべきだ」という重要な提言を頂いた。着実に進めるため、学校や地域と連携して全力を注いでいく」と話した。

審議会は7月に発足。生徒や保護者へのアンケートを実施し、その結果を踏まえ教職員との意見交換などを重ねてきた。（宮家大輔）

〔問①〕玖珠町は部活動を転換しようとしています。どのように転換することを目指していますか。

生涯スポーツ・文化活動への転換

〔問②〕学校部活動を廃止する背景はどういったことでしょうか。

（解答例）教員の働き方改革、教員の負担を減らす

〔問③〕学校の部活動をなくし、地域展開に代えることをどう考えますか。

自由記述

